

万景台の家門の立派な伝統が生きている限り 朝鮮革命の現在と未来は明るく燦然としている

ロシア金日成・金正日主義研究所所長
ワジム・クジミン

わたしは毎回、朝鮮革命の心臓であり全世界のチュチェ思想研究者の精神的中心である平壤をたずねるたびにまず、錦繡山太陽宮殿を訪問します。

この聖地には不滅の思想で自主の道を開いた金日成主席と金正日総書記が生前の姿で安置されています。

チュチェの最高聖地で、わたしは毎回、金日成主席の人生行路と、金日成主席が朝鮮と全人類のために成し遂げたすべてのことを振り返ります。

わたしは、金日成主席が不屈の闘士として、現時代の活動家として成長した環境について簡単に述べたいと思います。

言うに及ばず、人間の人格形成において重要なのは、生まれた当初から感受する家庭環境です。

金日成主席は、代々愛国的で革命的な家庭で生まれました。

金日成主席は、自国の5000年の歴史もっとも困難かつ悲劇的な時期に生まれました。金日成主席が生まれる数年前に、鮮やかな朝の国は独立を奪われました。

それは500年間、国を支配した朝鮮封建王朝の近視眼的政策の結果でした。外部勢力に頼り、主な列強間の矛盾を利用することを基にする朝鮮封建王朝の近視眼的な政策は、失敗に終わりました。

事大主義の結果、「乙巳5条約」(1905)が締結され、朝鮮は、日本という宗主国の植民地従属国に変わりました。

軍事力を強化し、全面的な近代化を実現して工場、企業所を建設する代わりに、朝鮮の封建官吏は外交的姦計を練ることにしがみ付き、この地域に利害関係を持っていたアメリカとロシア、中国、日本といった大国間の矛盾を利用しようとしてきました。

しかし、1893-1894年の戦争で清国を、1904-1905年の戦争でロシアを負かすと、日本はアメリカとたやすく「桂・タフト協定」(1905年7月29日)を締結し、アメリカのフィリピン占領を承認した代価として朝鮮に対する併合をおこないました。

朝鮮は40年に及ぶ長い間、日本の植民地支配を受けました。これは朝鮮人民

にとって計り知れない災難となりました。

朝鮮の固有の文化を踏みにじり、姓と名前を日本式に変えるようにしました。これとともに軍や鉱山にたいする強制動員令を実施し、女性に性奴隷生活を強要しました。

金日成主席は幼年時代をこのような環境の中で過ごしました。金日成主席は、数百数千の熱血愛国者を処刑し投獄した 3. 1 人民蜂起の過酷な鎮圧過程を自ら目撃しました。

金日成主席の家庭について、いくつか触れる必要があると思います。

それは、金日成主席の家庭が普通の家庭ではなく、代々人民に忠実であり、人民の利益を守ってきた愛国者家庭の手本であったからです。

金日成主席の曾祖父である金膺禹先生は、1866 年、植民地略奪を目的に朝鮮の大同江に忍び込んだアメリカ海賊船シャーマン号に反対する万景台人民の戦いを指導しました。

当時、金膺禹先生が導いた愛国者たちは、燃える筏を流して敵の軍艦を焼き払い、長い間、招かざる客が二度と再び忍び込めないようにしました。

万景台家門の次世代を継いだ祖父金輔鉉と祖母李宝益は、立派な道德品性をもち、それを子孫に譲り渡した愛国者でした。

この家庭では、祖父金輔鉉と祖母李宝益の影響を受け、強靱な生活信条を持った優れた愛国者と革命家を輩出しました。

金日成主席の叔父である金亨権先生は、朝鮮に広く知られた革命家、共産主義的信念の強い方でした。

先生は 1930 年 7 月、朝鮮革命軍のある武装グループを率いて安図を出発して国内進出の道につき、長百一帯で政治的軍事的活動をくり広げながら国内進出のための万端の準備を整えた後、鴨緑江を渡って三水、豊西を経て豊山に出れば把撥里の警察官駐在所を襲撃し、この地方で人民をひどく弾圧していた悪質巡查部長を射殺した後、集まってきた多くの大衆の前でともに一心同体となって日本帝国主義をうちやぶるという激動的な演説をし、利原郡の大衆の中で政治活動を巧みにおこなって人民に革命的な影響を与えただけでなく、大胆で臨機応変の戦術で遭遇した敵に痛撃を与えました。

金亨権先生は、ある裏切り者によって逮捕され、ソウル刑務所に投獄されました。いかなる拷問も嘲笑も飢えも金亨権先生の信念をくじくことはできませんでした。金亨権先生は、刑務所で犠牲になりましたが、あくまで人民に奉仕するという高い使命感を自覚した不拔の革命闘士の亀鑑になりました。

金日成主席の父である金亨稷先生も、やはり愛国主義思想と人民のために尽

くす気高い使命感、偉大な目的にたいする忠実性といった、万景台家門の立派な家風を継いでいきました。

金亨稷先生は、遠大な志を抱けという「志遠」の思想を打ち出しました。

金亨稷先生は、正義と幸福のための偉業で勝利を収めるためには、たとえ自己の代には目的を達することができなくても、革命の次世代にでも「志遠」の思想を実現しなければならないと述べました。

金亨稷先生は、金日成主席に、どんなことがあっても朝鮮を独立させなければならないという遺言を残して31歳という若さで亡くなりました。

金日成主席の母である康盤石女史も、変わらず革命の道を歩みました。

康盤石女史も、愛国主義思想と人民に対する献身的奉仕精神を持った、チルゴルの立派な教育者家庭で生まれました。

康盤石女史は、朝鮮女性運動の創始者であり、初めて女性たちを組織に結束し、政治活動をおこないました。

康盤石女史も、金日成主席に朝鮮の独立を達成し、祖国の地に幸せを花咲かせなければならないという遺言を残して、若い年に亡くなられました。

康盤石女史は息子である金日成主席に、手に武器を取って祖国の独立を成し遂げなければならないという金亨稷先生の遺言どおり、二挺のピストルを譲り渡しました。

康盤石女史は、一日も早く抗日遊撃隊が作られることを願い、遊撃隊創設のためにすべてを尽くしました。

金日成主席が生まれた家庭と当時の環境はこのようなものでした。

万景台の家門の革命的で愛国的な伝統は、革命の新しい世代によって子孫代々継承されることは疑う余地もありません。

われわれは万景台の家門の理想が花咲いて、祖国解放偉業で勝利を収め、血みどろの激しい戦いの中で日本帝国主義とアメリカを打ち倒して廢墟から立ち上がり、金正日総書記の指導のもとに苦難の行軍を終えて、21世紀の強国のすべての要求に合致する強国の大門が開かれた事実を目撃しています。

金正恩総書記が革命の陣頭に立っている今日、万景台の家門の愛国主義精神、「志遠」の高い志、「以民為天」の思想は継承されています。この伝統が生きていく限り、朝鮮革命の現在と未来は明るく洋々としているでしょう。